

(別添 2)

花粉曝露調査にご協力いただく皆様へ

捕集器の設置場所について

屋外、室内、個人用の 3 台の捕集器で大気中粉じん濃度と花粉(予定)を測定します。

* 屋外は、ベランダなどひさしの下に設置して下さい。A C 電源が引けない場合は、充電池で稼働させて下さい。

雨がかけられると思われる場合は、捕集器のケースごとビニール袋に入れ、ホルダーにはガムテープを一巻きして横向きか斜め下向きに設置して下さい。

* 室内は、居間の 1 m 前後の高さのところにおいて下さい。

ホルダーの吸引部を上または横に向け、塞がないようにして下さい。

* 個人曝露用は、ポーチなどに入れ、一日中できるだけ身近に置いてください。

就寝中、居室や台所にいて移動しないときなどは、外部専用電池をつないで防音箱に入れて身近に置いてください。

* **ポンプの内蔵電池では約 1 2 時間しか保ちません。半日以上は防音箱の外部専用電池に接続してください。**

外出などで、携帯が無理であった場合には、「居間に置いた」など、実際の行動とポンプの場所の両方を行動記録用紙にお書きください。

ホルダーの交換と測定記録について

概ね 24 時間ごとにホルダーを交換してください。

このとき、「調査記録用紙」にサンプル番号とホルダー番号を記載するとともに、交換した時刻、積算吸引量、積算時間を記録してください(方法は次のページに詳しく説明してあります)。

屋外、室内、個人曝露の測定は、同時に測定することが重要です。

「24 時間ごとの交換」は数時間の幅があっても構いませんが、ホルダーの交換作業はできるだけ時間を揃えてください。

*** 交換時の操作方法は下記のとおりです。**

(1) 「START/STOP」キーを押す。

(ポンプが停止します。この時の時刻を前日分の「終了時刻」に記録してください。)

(2) 「TOT」が表示されていることを確認し、その数値を前日分の「積算吸引量」に記録してください。(表示が「TOT」で内場合は、「MODE」キーを押して「TIME」を表示させて下さい。)

(3) 「MODE」キーを押して「TIME」を表示させ、その数値を前日分の「積算時間」に記録してください。

* 「MODE」キーを押すたびにメニューの表示が切り替わりますので、上記の表示が出るまで繰り返して押してください。

* 個人曝露用については、ここで電池の交換をしていただきます。

(4) 新しいホルダーに取り替えて、その番号を当日分の「サンプル No.」(テープの番号)と「ホルダー No.」(ホルダー底部の刻印番号)欄に記録してください。

(確認のために両方の番号を記録してください)

(5) 「MODE」キーを押して「FLOW」を表示させて下さい。ポンプに貼ってあるラベルの数値と同じであることを確認してください。

(ラベルの数値と FLOW が違うときには、UP、DOWN キーで一致させて下さい。)

(6) 「START/STOP」キーを押すとポンプが動き出します。この時の時刻を当日分の「開始時刻」に記録してください。

(7) 測定終了後のホルダーはビニール袋に入れて冷蔵庫に保管してください。

* 稼働中に「START/STOP」キーに触れて停止するのを防ぐには、MODE キーを押して LOCK モードにし、「START/STOP」キーを押すと、KEY LOCK の赤ランプが点灯します。

さらに一度 MODE キーを押しておく、以下の操作をしない限り停止しません。

* 停止させるには、MODE キーで LOCK モードにし、「START/STOP」キーを押してロックを解除します(赤ランプ消灯)。その後 MODE キーで LOCK 以外のモードにしてから「START/STOP」キーを押して、停止します。

内蔵電池の交換について (個人曝露用のみ)

* ホルダーの交換をした後、外部電池を外し、POWER を OFF にしてから、裏フタを外して単三充電電池が 8 本入ったケースを取り出してください。

* 使った電池を交換用電池と一緒にならないように外し、新しい電池を組み込みます。この際、プラスとマイナスを間違えないように気を付けてください。

* ケースをセットしてフタをし、ON にします。このとき液晶表示が出ることを確認してください。(表示が出ない場合は、電池の接触不良ですので、再度入れ直してください。)

充電について

取り外した充電電池を翌日使用するために充電しておいてください。

* 単三充電電池は 4 本ずつ充電器に入れてコンセントに差し込んでください。

* バッテリーパックは専用の急速充電器に接続してコンセントに差し込んでください。

いずれも赤色ランプが点灯して、充電が始まります(4 時間あまりで充電は終了します)。

行動記録のつけ方について

行動記録用紙に、記入例を参照いただき、できるだけまめに記録を付けてください。

- * 外出中に、タバコ煙のある場所に行ったときには、その旨をメモ書きしてください。
- * ポンプがいつのまにか停止した（全く音がしなくなった）ときには、そのままにしておいてください。

行動記録用紙には、ポンプの停止に気づいたことを記入し、以後は携帯せずに保管していただきますが、行動記録は付けてください。

- * ポンプが停止したことにすぐに気づいた場合は、その時刻を行動記録用紙に記入し、外部専用電池をつなぎ、ONのスイッチを押して動かしてみてください。ただし、その後は外部電池を付けたままになりますので、携帯は箱ごとお願いいたします。

症状日誌のつけ方について

測定期間中の花粉症の症状、治療の有無について、症状日誌に記録をお願いします。

時間帯はおよそで結構ですが、目安として朝（起床時～正午）、昼（正午～午後6時）、夜（午後6時～就寝時）の症状を記録してください。

症状は、それぞれの時間帯でもっともひどかった症状の程度について、1（症状なし）～5（非常に思い）の数字を記入してください。治療については、該当欄に 印をつけてください。

症状、生活や気持ちを含めて、1日ごとに総合的状态を表す顔の番号に 印をつけてください。

連絡先

測定中に何らかの問題が生じた場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

兵庫医科大学公衆衛生学講座（担当：島 正之）

TEL 0798-45-6566 / FAX 0798-45-6567

(別添3)

「環境と花粉症に関する研究」についての説明書

1. 研究の目的

わが国で増加しているスギ花粉症の原因として、スギ花粉の飛散だけでなく、大気汚染や生活様式の変化などの影響が指摘されています。転居や職場の異動などに伴って花粉症の症状が増悪あるいは軽快したという経験はこれまでも報告されておりますが、多数の患者様を対象とした検討は行われておりません。今回の研究は環境省が行う研究の一環として実施するものであり、花粉症の患者様にこれまでの症状の変化や生活環境についてお尋ねして、花粉症の症状と大気汚染などの環境因子との関連を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

(1) 質問票による調査

「環境と花粉症に関する調査票」の質問にお答えいただきます。花粉症に関係のある症状のほかに、これまでにかかった病気、過去における居住地、職業、喫煙等にわたるものとなっておりますが、環境と花粉症との関係を調べるために必要な項目ばかりですので、ありのままにお答え下さいますようお願いいたします。なお、ご記入された内容が不明な点などについて、改めてお尋ねして確認させていただく場合があります。

(2) 環境測定

平成17年2～3月の花粉飛散期に小型の測定器を1週間携帯していただくとともに、居住しておられる家屋の内外に設置し、その間のスギ花粉量および粒子状物質濃度を測定させていただきます。また、この期間の花粉症症状の程度および行動について記録していただきます。この測定にあたっては24時間ごとにフィルターを交換する必要があります。操作は簡単ですが、必要に応じて調査員がお伺いして、交換などの作業をさせていただきます。

3. 期待される効果

患者様が花粉症を発症される前から現在に至るまでの状態を検討することにより、大気汚染をはじめとする環境因子が花粉症に及ぼす影響を明らかにすることが期待されます。

4. 予想される危険性

質問票による調査につきましては、まったく危険性はありません。

環境測定で使用する器械は軽量であり、携帯していただくことによって身体に負担になることはありませんが、金魚の水槽などに使用されるポンプ程度の軽微なモーター音がします。ご家庭に設置していただく器械は電源をお借りする必要があります(消費電力は17ワット、2台7日間使用した場合の電気代は120円程度となります)。

5．研究協力の同意

この研究にご協力いただけるかどうかは、あなたの自由な意志にもとづきます。ご協力いただけない場合にも不利益になることは一切ありません。また、一度同意された後でも、いつでも同意を撤回することができます。

6．プライバシーの保護

解析に際して個人情報はずべて符号によって匿名化し、個人が特定されることはありません。結果を公表する際は、統計学的に処理・解析された結果のみとし、個別の結果が公表されることはありません。すべての内容について秘密を守り、目的以外に使用することはありません。

7．結果の通知

環境測定にご協力いただいた場合、ご希望されれば測定結果をお知らせします。

8．研究成果に関する権利

環境測定結果のご報告以外の本研究結果に関する権利は放棄させていただきます。

9．研究に要する費用

本研究に関する費用を負担していただく必要はありません。環境測定にご協力いただいた場合には、些少ですが、謝金をお支払いします（使用させていただく電気代を含みます）。

以上をご理解の上、ご協力いただける場合は同意書に署名して下さいますようお願いいたします。

この研究に関するご質問等がございましたら下記までお願いします。

兵庫医科大学 耳鼻咽喉科学講座（担当：深澤啓二郎）
公衆衛生学講座（担当：島 正之）
TEL 0798-45-6566 / FAX 0798-45-6567

平成 年 月 日

説明者 _____

(別添4)

同意書

私は「環境と花粉症に関する研究」について、目的、方法等に関する以下の項目について説明を受け、内容について十分理解し、下記の項目を了承しました。

この書面をもって、私がこの研究に参加することを自由意志で決定したことを示すものとします。

説明を受け、理解した項目（ の中にご自分でチェックをつけてください）

研究の目的

研究の方法

期待される効果

予想される危険性

同意しない場合でも不利益を受けないこと

同意した後、いつでも同意を撤回できること

プライバシーの保護

測定結果の報告が得られること（環境測定を実施した場合）

環境測定結果報告以外の研究に関する権利を放棄すること

研究費用の負担のないこと

環境測定を実施した場合は、謝金が支払われること

同意について、いずれかを 印で囲んでください。

この研究における「質問票調査」に：	同意します	同意しません
この研究における「環境測定」に：	同意します	同意しません

平成 年 月 日

ご氏名 _____

担当医師 _____